○宍粟市スポーツ施設条例

平成 17 年 4 月 1 日条例第 195 号

宍粟市スポーツ施設条例

(設置)

第 1 条 市民のスポーツ・レクリエーションの普及及び身体の健全な発達を促進するため、宍粟市スポーツ施設(以下「スポーツ施設」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 スポーツ施設の名称及び位置は、**別表第 1**のとおりとする。

(管理及び運営)

第 3 条 教育委員会は、スポーツ施設を常に良好な状態にあるよう管理し、第 1 条の設置目的に応じて効率的に運営するよう努めなければならない。

(休館日等)

第 4 条 スポーツ施設の休館日及び開館時間は、**別表第 2**のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、休館日及び開館時間を変更することができる。

(使用の許可)

第 5 条 スポーツ施設を使用しようとする者は、あらかじめ教育委員会に申請して、その許可を受けなければならない。

2 委員会は、スポーツ施設又は附属設備の管理上必要があると認めるときは、前項の許可に際し条件を付することができる。

(使用の制限)

第 6 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、スポーツ施設の使用を許可しない。

(1) 公共の秩序及び風紀を乱し、又はその他公益を害するおそれがあると認めるとき。

(2) 管理上支障があると認めるとき。

(3) その他管理上その使用が不相当と認められるとき。

(目的外使用等の禁止)

第 7 条 使用の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は許可を受けた目的以外にスポーツ施設を使用してはならない。

2 使用者は、使用権を他人に譲渡し、又は転貸することができない。

(使用許可の取消し等)

第 8 条 教育委員会は、使用者が次の各号のいずれかに該当するときは、使用の許可を取り消し、又はその使用を制限し、若しくは使用を停止し、又は退去を命ずることがある。

(1) この条例及びこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 使用許可の条件に従わないとき。

(3) その他教育委員会において特に必要があると認めるとき。

2 前項の規定による処分によって使用者に損害が生じることがあっても、教育委員会はその賠償の責めを負わない。

(入館の制限)

第 9 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、入館を拒否し、又は退場を命ずることができる。

(1) 公共の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼすおそれのある者

(2) その他管理上支障があると認める者

(使用料及び予約料)

第 10 条 スポーツ施設及び附属設備の使用料及び予約料は、**別表第 3**に定めるとおりとする。

(使用料の納付)

第 11 条 前条の使用料は、その許可を受けたときに前納するものとする。ただし、教育委員会が認めたときは、後納することができる。

(予約料の納付)

第 12 条 予約料の納付については、次によるものとする。

(1) 予約料は、**別表第 3**に掲げる額を使用期日前、14 日前までに納付しなければならない。ただし、教育委員会が認めたときは、この限りでない。

(2) 既納の予約料は、還付しない。ただし、使用期日前 7 日までに、使用者の責めによらない理由により予約を取消しする場合等特別の事情があるときは、その全額又は一部を還付することができる。

(使用料の不還付)

第 13 条 既納の使用料は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、使用料の全部又は一部を還付することができる。

(1) 使用者の責めによらない理由により使用しなかったとき。

(2) 使用者が、使用期日 2 日前に使用の取消しを申し出た場合で、相当の理由があると認められるとき。

(3) その他特別の理由があると認められるとき。

(使用料の免除)

第 14 条 教育委員会は、次に掲げる場合は、第 10 条の使用料の全部又は一部を免除することができる。

(1) 市又は教育委員会が使用する場合

(2) 市内に住所を有する出生の日から 15 歳に達する日以降の最初の 3 月 31 日までの間にある者が使用する場合

(3) 市内に住所を有する 65 歳以上の者が使用する場合

(4) 市内に住所を有する次のいずれかに該当する者及び当該者を介護する者が使用する場合

ア 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条第 4 項に規定する身体障害者手帳の交付を受けた者

イ 療育手帳制度要綱（昭和 48 年 9 月 27 日厚生省発見第 156 号）に規定する療育手帳の交付を受けた者

ウ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条第 2 項に規定する精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者

(5) 前各号に定めるもののほか、教育委員会規則で定める場合

(特別設備の設置)

第 15 条 使用者は、スポーツ施設に特別の設備をしようとするときは、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

(使用後の処置)

第 16 条 使用者は、スポーツ施設の使用が終わったとき、又は第 8 条の規定により使用を停止され、若しくは使用を取り消されたときは、直ちにスポーツ施設を原状に回復し、設備器具等とともに係員に引き渡し、点検を受けなければならない。

2 使用者が前項の義務を履行しないときは、教育委員会が使用者に代わって執行し、その費用は、使用者が負担しなければならない。

(指定管理者による管理)

第 17 条 スポーツ施設の管理は、**宍粟市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例（平成 17 年宍粟市条例第 15 号）**の定めるところにより、法人その他の団体であつて、教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

2 前項の規定によりスポーツ施設の管理を指定管理者に行わせる場合において、前条までの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」と読み替えるものとする。

3 第 1 項の場合において、第 5 条、第 10 条及び第 14 条に規定する部分については、教育委員会の承認を得なければならない。

4 第 1 項の場合において、スポーツ施設の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）については、指定管理者に収受させる。

(指定管理者の業務の範囲)

第 18 条 指定管理者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

(1) 第 1 条に掲げる設置目的のために必要な業務

(2) スポーツ施設の利用許可に関する業務

(3) スポーツ施設の維持管理に関する業務

(4) 利用料金の収受に関する業務

(5) その他教育委員会が必要と認める業務

(利用料金への読み替え)

第 19 条 第 17 条の規定に基づき、スポーツ施設の管理を指定管理者に行わせる場合において、第 10 条以降の条項及び別表中「使用料」とあるのは「利用料金」と、第 10 条中「別表第 3 に定めるとおり」とあるのは「別表第 3 に定める使用料の範囲内で教育委員会が認めた額」と読み替えるものとする。

(損害賠償)

第 20 条 使用中又は使用により生じた原因のため、施設及び設備器具等を損傷し、又は滅失したときは、使用者は、教育委員会の定めるところに従ってこれを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(事故の責任)

第 21 条 施設及び設備器具等の使用により使用者の責めによって生じた事故及び損害については、使用者の責任とする。

(委任)

第 22 条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の山崎町スポーツセンターの設置及び管理に関する条例（昭和 47 年山崎町条例第 32 号）、山崎町立文化体育館の設置及び管理に関する条例（昭和 60 年山崎町条例第 24 号）、御形公園広場の設置及び管理に関する条例（昭和 59 年一宮町条例第 29 号）、スポニックパーク一宮の設置及び管理に関する条例（平成元年一宮町条例第 25 号）、波賀町民グラウンド設置及び管理に関する条例（昭和 47 年波賀町条例第 13 号）、波賀町 B & G 海洋センター設置及び管理に関する条例（平成 4 年波賀町条例第 14 号）、波賀町ふれあいサロンの設置及び管理に関する条例（平成 12 年波賀町条例第 29 号）又は B & G 財団千種海洋センターの管理及び運営に関する条例（昭和 58 年千種町条例第 12 号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、それぞれこの条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則（平成 18 年 12 月 27 日条例第 55 号）

この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 19 年 9 月 28 日条例第 32 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成 22 年 3 月 5 日条例第 15 号）

この条例は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年 12 月 17 日条例第 35 号）

この条例は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 28 年 3 月 14 日条例第 18 号）

この条例は、規則で定める日から施行する。（平成 28 年 3 月規則第 17 号で、同 28 年 7 月 1 日から施行）

別表第 1（第 2 条関係）

施設名称	位置
山崎スポーツセンター	宍粟市山崎町下町 1 番地
ミニアリーナさつき	宍粟市山崎町鹿沢 118 番地 2
スポニックパーク一宮	宍粟市一宮町東市場 1090 番地 3
波賀総合スポーツ公園	宍粟市波賀町有賀 97 番地 1
波賀市民グラウンド	宍粟市波賀町上野 164 番地 6
宍粟市波賀 B & G 海洋センター	宍粟市波賀町有賀 29 番地 1
波賀ふれあいサロン	宍粟市波賀町有賀 97 番地 23
宍粟市千種 B & G 海洋センター	宍粟市千種町千草 7 番地 4

別表第 2（第 4 条関係）

施設名称	休館日	開館時間
山崎スポーツセンター	(1) 毎週水曜日（水曜日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（以下「国民の祝日」という。）に当たるときは、その翌日） (2) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで (3) 教育委員会が管理上必要と認める日	9 時から 22 時まで ※ 管理上必要と認めるときは、開館時間を変更することができる。
ミニアリーナさつき	(1) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで (2) 教育委員会が管理上必要と認める日	9 時から 22 時まで ※ 管理上必要と認めるときは、開館時間を変更することができる。
スポニックパーク一宮	(1) 毎週火曜日（火曜日が国民の祝日に当たるときは、その翌日） (2) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで (3) 教育委員会が管理上必要と認める日	(1) 9 時から 22 時まで (2) プール及びトレーニングルームは、9 時から 21 時まで ※ 管理上必要と認めるときは、開館時間を変更することができる。
波賀総合スポーツ公園 波賀市民グラウンド	(1) 毎週月曜日（月曜日が国民の祝日に当たるときは、その翌日） (2) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで (3) 教育委員会が管理上必要と認める日	9 時から 22 時まで ※ 管理上必要と認めるときは、開館時間を変更することができる。
宍粟市波賀 B & G 海洋センター 波賀ふれあいサロン	(1) 毎週月曜日（月曜日が国民の祝日に当たるときは、その翌日） (2) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで (3) プールは 10 月 1 日から翌年 5 月 31 日まで（水温の関係で、期間を変更することができる。） (4) 教育委員会が管理上必要と認める日	(1) 9 時から 22 時まで (2) プールは、9 時から 21 時まで ※ 管理上必要と認めるときは、開館時間を変更することができる。
宍粟市千種 B & G 海洋センター	(1) 毎週月曜日（月曜日が国民の祝日に当たるときは、その翌日） (2) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで (3) 教育委員会が管理上必要と認める日	9 時から 21 時まで ※ 管理上必要と認めるときは、開館時間を変更することができる。

別表第 3（第 10 条関係）

1 山崎スポーツセンター

施設区分	利用区分	利用単位	使用料
第 1 グラウンド	全面使用	1 時間につき	1,000 円

	半面使用	1時間につき	500円
第2グラウンド		1時間につき	500円
テニスコート	1面	1時間につき	400円
多目的コート		1時間につき	100円
照明設備	第1グラウンド	全面点灯	30分につき 1,200円
		半面点灯	30分につき 600円
	テニスコート	1面	30分につき 200円
	多目的コート		1時間につき 100円
体育館	競技場	全面使用	1時間につき 1,000円
		半面使用	1時間につき 500円
	武道場		1時間につき 500円

2 ミニアリーナさつき

施設区分	利用区分	利用単位	使用料
体育館		1時間につき	500円

3 スポニッパークー宮

施設区分	利用区分	利用単位	使用料
テニスコート	1面	1時間につき	800円
テニス練習コート	1面	1時間につき	400円
パターゴルフ場	1人	1ラウンド	200円
グラウンド	全面使用	1時間につき	1,000円
	半面使用	1時間につき	500円
照明設備	テニスコート	1面	30分につき 200円
	グラウンド	全面点灯	30分につき 1,200円
		半面点灯	30分につき 600円
体育館	競技場	Aコート	1コート 1時間につき 500円
		Bコート	
		Cコート	
	武道場	1面	1時間につき 500円
	ミーティングルーム	室	1時間につき 200円
	多目的室		
	トレーニングルーム	中学生以下 1人	1時間につき 100円
高校生以上 1人		1時間につき 200円	
コテージ・クラブハウス	土、日、祝日の前日宿泊 (16時～翌日10時)	1棟 1泊	基本料 14,000円
		1人につき	利用料 1,300円
	上記以外の日宿泊 (16時～翌日10時)	1棟 1泊	基本料 11,000円
		1人につき	利用料 1,300円
	休憩	1時間につき	1棟 2,000円

○宮山市民の森の使用料は、無料とする。

○予約料は、1泊5,000円（利用料に充当）とする。

○使用料は、基本料+利用料とする。

○国民の祝日の前日、振替休日の前日は、土、日、祝日の前日と同一料金とする。

○7月20日から8月31日までの宿泊利用は、基本料に一律1,000円を加算する。

温水プール (フリータイム)	利用区分	使用料		
		大人(高校生以上)	子供(中学生以下)	親子(各1人で2人)
	1回(2時間)	500円	300円	700円
	回数券(11回分・有効期間1年)	5,000円	3,000円	7,000円
	年間会費一括料金	個人会員	12,000円	6,000円
家族会員		10,000円	4,000円	

		法人会員	60,000円（無記名会員5人分）		
温水プール （スイミングスクール）	入会金		1,500円	1,000円	1,700円
	年会費		1,500円	1,000円	1,700円
	月会費	週1回	5,000円	4,000円	6,000円
		週2回	6,000円	5,000円	8,000円
		週3回	—円	6,000円	—円
週4回		—円	6,500円	—円	
○スイミングスクールは、10時から20時30分までとする。					
その他設備備品	別に教育委員会が定める額				

4 波賀総合スポーツ公園及び波賀市民グラウンド

施設区分	利用区分	利用単位	使用料	
波賀市民グラウンド		1時間につき	500円	
総合スポーツ公園野球場	全面使用	1時間につき	1,000円	
	半面使用	1時間につき	500円	
	本部席	1回につき	1,000円	
テニスコート	1面	1時間につき	800円	
フットサルコート	1面	1時間につき	300円	
照明設備	波賀市民グラウンド		30分につき	500円
	総合スポーツ公園野球場	6基点灯	30分につき	1,200円
		4基点灯	30分につき	600円
	テニスコート及びフットサルコート	1面	30分につき	200円

5 宍粟市波賀B&G海洋センター

施設区分	利用区分	利用単位	使用料
プール	中学生以下 1人	1回につき	100円
	高校生以上 1人	1回につき	200円
体育館	全面使用	1時間につき	1,000円
	半面使用	1時間につき	500円
武道場	1面	1時間につき	500円
ミーティングルーム	1室	1時間につき	200円

6 波賀ふれあいサロン

施設区分	利用時間及び使用料			
	午前9時から正午まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで	午前9時から午後10時まで
集会室	700円	700円	700円	2,100円
和室	500円	500円	500円	1,500円
調理室	500円	500円	500円	1,500円
○冷暖房を使用するときは、使用料の3割を加算する。				
○特別の設備備品等の使用料は、別に教育委員会が定める額とする。				

7 宍粟市千種B&G海洋センター

施設区分	利用区分	使用料			
		大人（高校生以上）	子供（中学生以下）	親子（各1人で2人）	
温水プール （フリータイム）	1回（2時間）	500円	300円	700円	
	回数券（11回分・有効期間1年）	5,000円	3,000円	7,000円	
	年間会費一括料金	個人会員	12,000円	6,000円	—円
		家族会員	10,000円	4,000円	—円
		法人会員	60,000円（無記名会員5人分）		
温水プール	入会金	1,500円	1,000円	1,700円	

(スイミングスクール)	年会費		1,500 円	1,000 円	1,700 円
	月会費	週 1 回	5,000 円	4,000 円	6,000 円
		週 2 回	6,000 円	5,000 円	8,000 円
		週 3 回	— 円	6,000 円	— 円
		週 4 回	— 円	6,500 円	— 円
○スイミングスクールは、10 時から 20 時 30 分までとする。					
その他設備備品	別に教育委員会が定める額				